

議事録

会議名	令和元年度 宇都宮市地域包括支援センター運営協議会
開催日時	令和2年3月17日（火）午後6時 ※ 新型コロナウイルス感染症の感染予防のため書面開催
出席者 ※資料送付者	村井 邦彦（一般社団法人宇都宮市医師会 理事） 臼井 康祐（一般社団法人宇都宮市歯科医師会 理事） 穂高 律子（公益社団法人栃木県看護協会 理事） 湯澤 対（一般社団法人栃木県社会福祉士会） 大山 典昭（NPO法人とちぎケアマネジャー協会 会長） 福田 光作（宇都宮市介護サービス事業者連絡協議会 副会長） 塩澤 達俊（宇都宮市居宅介護支援事業者連絡協議会 会長） 奈良 勇（宇都宮市自治会連合会 副会長） 檜山 和子（宇都宮市民生委員児童委員協議会 会長） 大島 一夫（社会福祉法人宇都宮市社会福祉協議会 常務理事兼事務局長） 小野 篤司（宇都宮短期大学人間福祉学科 准教授） 山田 ちい子（宇都宮介護者の会 事務局長）
会議概要	1 会長・副会長の選出 ⇒ 承認 2 議事 (1) 平成30年度 地域包括支援センターの運営・活動等の状況について (2) 平成30年度地域包括支援センターの事業評価結果について (3) 令和2年度宇都宮市地域包括支援センター運営事業実施方針について ⇒ 令和2年度宇都宮市地域包括支援センター運営事業実施方針について異議がないことから、原案のとおり決定する。
内容 (意見概要)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(1) 平成30年度 地域包括支援センターの運営・活動等の状況について</div> <p>湯澤委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成年後見制度についての相談件数が少ないセンターがある。相談の顛末も含めて活動状況の把握方法を工夫して制度の利用促進に繋がるようなデータを出すことが望ましいと思う。</li> <li>・ 見守り活動会議、安否確認の実績がないセンターがあるが、回数が少ないセンターについては実態を調査する必要があるのではないかと。</li> <li>・ センター職員体制について、安定した人材確保が出来なければ、センターの機能強化は困難である。職種や職員数が欠けないようにする方策を講じるとともに、配置にあたっては、質を落とさないための最低要件の順守は必要である。</li> </ul> <p>檜山委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各地域のために忙しい中、よく対処していただき活動していると思う。</li> </ul> <p>小野委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通常の活動に加え、新型コロナウイルス感染拡大により、高齢者や家族の生</li> </ul>

活に不安の増加や健康への影響が心配される。外出の制限によって孤立，虐待など深刻な事態になることを防ぐためにも，出張相談や電話相談などの情報発信，センター職員のみならず民生委員児童委員などとも連携し訪問やアウトリーチ活動が重要になると思われる。

**(2) 平成30年度地域包括支援センターの事業評価結果について**

村井委員

- ・ 「評価」を通じて各センターと対話・協議をする契機としていただき，次の世代の地域包括支援センターを設計していただきたいと思う。

湯澤委員

- ・ 個人情報保護について，早急に管理体制を整備し，センターに研修を実施してほしい。
- ・ 市長申立について，早急にセンターとの共有を望む。

小野委員

- ・ 「組織運営体制」「個別業務・事業間連携」について，全国と比較して達成率が下回る項目は引き続き改善に向け検討・整備が必要である。
- ・ 各センターが達成できていない項目について，何らかの課題を抱えていることも考えられる。各センターが改善に向け取り組めるようセンター間で情報共有できる機会をつくることや市が助言するなどフォロー体制の整備が必要かと思う。

**(3) 令和2年度宇都宮市地域包括支援センター運営事業実施方針について**

檜山委員

- ・ 多くの事業を行うなか，目標を掲げることは重要だと思う。

小野委員

- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大による地域住民への影響を把握し，適切な対応をしていくことも今年度重要な課題になると思う。